～過去 25 年間 NR 重大ニュース～

今年、NR 誕生 25 周年を迎えたことを記念し、投票形式により過去 25 年間の重大ニュースランキングを作成した。この 25 年間、毎年のように衝撃的な出来事が起こったが、その最高峰に輝くニュースはどのようなものであろうか。

なお、遠い過去の記事については、過去に刊行された EXPRESS での記述をもとに解説を行っているため、内容が希薄かつ不正確な場合があることをあらかじめご了承いただきたい。

第 1 位 トロッコ大破

（平成 23 年度 第 5 位）

タイトルの響きのみをとっても強烈なインパクトがあり、なおかつ**現役部員にとって記憶に新しい**このニュースが、25 年間の重大ニュース第 1 位に選ばれた。

4 月 15 日の新入生説明会で、新入生向けにミニ鉄道の運転会を行った。運転会が終了し、線路の片づけを行っている最中、**ミニ鉄道車両の横に置いてあった「西船橋駅」の駅名標が、折からの強風にあおられて倒れ、置いてあったミニ鉄道車両に直撃した。**

結果、**紙粘土で作られた 300 系新幹線の前面は粉々に砕け散ってしまった。**

第 2 位 新歓ハイク？？？

（平成 7 年度 第 8 位）

「新歓ハイク」とは、その名の通り新入生を歓迎する目的で行われる遠足である。ところが、この年の新歓ハイクでは、**なんと 1 年生が誰一人としてハイク先（佐野厄除け大師）に来ないという事態に！**

いったい何のための新歓ハイクだったのやら…。

第 3 位 悪魔！1 枚のきっぷで 15 万円得してきた男！

（平成 16 年度 第 1 位）

この年の夏合宿では、**「北海道フリーきっぷ」**という企画きっぷを購入した部員が数名いた。**JR 北海道全線において特急・グリーン車・B 寝台車(一部)が 1 週間利用できる**便利なきっぷで、価格は **34,860 円**であった。

このきっぷを購入した N 氏は、**B 寝台やグリーン席を可能な限り利用する**などして、7 日間で**なんと 185,000 円分も乗車したといわれている！**

同じきっぷを使った編集長は 10 万円分乗車するのがやっとであったようで、**N 氏がいかに豪華な鉄道旅行を満喫したかがお分かりいただけよう。**

第 4 位 T　上越線天国逝き列車登場！？

（平成 18 年度　第 3 位 T）

冬真っ盛りのある日、駿河台で活動していた S 氏と N 氏が上越線で土合へ行った時のこと。土合駅に到着後、上りホームで電車を待とうとしたところ、**猛烈な吹雪に襲われ**、その後乗った上り列車が**走行中にパンタグラフが降りる**という首都圏ではなかなか遭遇することのない事態に陥ってしまった。すなわち、**2 人は「遭難」しかけてしまったのである。**

その後 2 人は救援のバスでなんとか水上に辿りついたが、そこから高崎へ向かう電車は**踏切内人立ち入りによって緊急停車…**。この日は 2 人にとって散々な一日となってしまった。

第 4 位 T　切れた…。そしてキレた！　～バス両替機騒動～

（平成 21 年度　第 6 位）

夏合宿中、坂出から瀬戸大橋記念公園へ向かうバスの車内での出来事。幹事を務めていた H 氏は、**車内での混乱・トラブル防止のため、あらかじめ小銭を十分に用意しておくよう部員に指示していた。**

ところが、とある 1 人の部員を皮切りに**部員が続々とバス車内の両替機を使った**ために、**なんとバスが始発を発車する前の時点で両替機の釣銭が切れてしまう**というとんでもない事態に陥った。呆れを通り越して怒り爆発の H 氏は、バスを降りた後、**部員全員に説教を下すことに…。**

なお、小型のバスに大量の部員が乗車したために、このバスは**エンストが頻発したという…。**

第 6 位　N 氏、TOP5 を占領！

（平成 16 年度　第 1～5 位）

2004 年、**NR 重大ニュースの TOP5 がすべて N 氏によって埋められる**という伝説の記録が誕生した。そのため、この年の重大ニュース記事のタイトルは **N(ナ)スシオバ R(ラ)重大ニュース**となった（N 氏がとある部員に**「おい、シオバラ！」**と呼ばれていたことから、N 氏には**「ナスシオバラ」**という愛称が付けられていたそうである）。

第 7 位 T　クイズ列車走る

（平成 5 年度　第 9 位）

この年の 5 月 9 日に行われた新歓ハイクでは、**列車内でクイズ大会が行われた。不正解者は途中の駅で降りるというルール**があったようで、**上尾で部員数名が降りる羽目になる**など、**従来のものとはノリの違う新歓ハイクになった。**

第 7 位 T　夏合宿台風直撃

（平成 13 年度　第 1 位）

この年、四国への夏合宿では、台風の影響により**東京から西に延びる鉄道・高速道路が全面不通**となり、**参加者の半数近くが何らかの影響を受けた**。中には、**高速バスに 16 時間も缶詰状態になってしまった不運極まりない部員もいた**という。

第 7 位 T　H 氏、部屋から OB を追い出す

（平成 22 年度　第 2 位）

夏合宿 2 日目の夜、H 氏が自分の部屋でアニメ番組の観賞会を行うことにした。番組の開始まで時間があったため、H 氏は軽く一眠りするつもりで部屋のベッドに横たわった。

ところが、H 氏が目を覚まして時計を見ると、なんと朝 7 時前！あろうことか、H 氏は翌朝まで爆睡してしまったのである。そして、ふと見ると、同部屋である OB の N 氏がいない！

H 氏が爆睡している間、N 氏は部屋のオートロックの暗証番号を忘れてしまったために部屋に入ることができず、H 氏に連絡を入れても全く繋がらなかったため、やむなく他の 2 人部屋に入れてもらい夜を明かすことになった。

何はともあれ、傍から見れば当時現役生の H 氏が OB である N 氏を部屋から追い出す形になり、H 氏は非難を受けることになったとか…。

第 10 位 T　N 氏、島ノ下で奇跡！

（平成 16 年度　第 4 位）

9 月 12 日、根室本線で、降りるはずだった富良野駅を寝過ごしてしまった N 氏。次の**島ノ下駅**で降りて時刻表を確認すると、富良野に向かう次の列車は **1 時間 20 分後**であった。これではこの後の行程が大きく狂ってしまうため、駅周辺の幹線道路でヒッチハイクに挑戦した。すると幸運なことに、たまたま通りかかった富良野駅行きのバスの運転手が、バス停でないにもかかわらず N 氏を乗せて富良野駅へ向かってくれたため、無事予定のノロッコ号に間に合ったそうである。

第 10 位 T　謎のマリオサウンド

（平成 18 年度　第 3 位 T）

事の真相は分からずじまいであったが、夏合宿でN 氏やM 氏の一行が北陸を車で移動中、FM ラジオのチューニングをしていくと、あるところで「マリオサウンド」が聞こえたという。ドット絵が似合いそうな単純な音楽が流れてきたかと思えば、突然ゲームオーバーの音楽が聞こえてきたため一同大爆笑だったという。

第 10 位 T　ムーンライトながらコーンポタージュ風味　～豊橋一番列車の怪～

（平成 19 年度　第 2 位）

夏合宿の訪問先に向かう途中の**ムーンライトながら車内**で、部員の一人が空調で冷えた身体を温めようとコーンポタージュを飲んだところ、車内にものすごくうまそうな匂いが充満し、同乗していた他の会員たちも全員車外でコーンポタージュを飲むこととなった。

いかがだったであろうか。これまでの 25 年間、ついクスッとくるような笑い話から、本人にとっては冗談では済まない（？）トラブルまで、様々なニュースが生まれてきた。周囲に迷惑をかけるような出来事では困ってしまうが、今後はどのような伝説が誕生するか、大変楽しみである。